

予算特別委員会

(単位：万円)

| | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 |
|----------|----------|----------|----------|
| 一般会計予算 | 64億8,000 | 56億2,000 | 60億8,200 |
| 特別会計予算 | | | |
| 国民健康保険事業 | 9億4,520 | 10億1,100 | 10億9,700 |
| 老人保健 | 12億1,650 | 11億7,390 | 1億2,700 |
| 後期高齢者医療 | | | 1億1,160 |
| 介護保険事業 | 8億5,260 | 8億5,520 | 8億6,070 |
| 簡易水道事業 | 3億9,090 | 3億9,940 | 2億4,720 |
| 温泉事業 | 2,710 | 2,240 | 2,090 |
| いやしの里診療所 | | 3,880 | 4,380 |

- ◎ **企画環境・企画観光課** 指定管理委託料500万円
 ◎ 集会所修繕補助率を150万円以上の大規模修繕を9/10から2/3に、150万円以下の小規模修繕は1/2のままだが、畳の取り替えも対象に広げたとの説明に、大規模補助が下がり大変な負担増になる。対象基準を明確にするべき等の意見があった。
- ◎ **大新東への町営バス運行管理委託料の約400万円の増額は法改正で10月から運行管理者を現地に置くための人件費、事務所費の半分との説明に、入札し直すべきとの意見があり、3年契約の中途での契約破棄は賠償請求もあるのでは次の入札を待ちたいとの答があった。**
- ◎ **商工会活動補助金の100万円減額は、補助対象を明確にしたためとの説明があった。**
- ◎ **もりのくに運営費の**
- ◎ **緑茶加工施設整備補助金220万円は旧本川根でやっていた個人農家の機械更新への補助で、20%の6件分。**
- ◎ **農林センターの35kg製茶機を品評会だけでなく一般も使えるようにして欲しいとの意見に、品評会用は管理が厳しい。品種改良など町も入った研究や試験採みなら条件が合えば貸し出すとの答だった。**
- ◎ **住宅建設費1億7千万円中、若者住宅建設に約1億円。独身向けを家族向けにするのは当初の目的と違う。一旦中止し見直の要望に21年度分は建設委員会**
- ◎ **国民健康保険事業** 一般医療費の2億円増は、制度改正で退職被保険者の65〜74才が一般に移る事と、医療費伸び率の増が原因。
- ◎ **川根町と共同設置していた介護認定審査会を20年度から町単独で設置、委員16名、隔週開催予定との説明。**
- ◎ **後期高齢者医療事業** 県広域連合納付金1億千155万円を、75才
- ◎ **小中学校の工事費減** に、中川根側はトイレ改修は終わったのかとの質問があり、一定の改修は済んだとの答。
- ◎ **生涯学習課** 海洋センター運営費約1千万円減は、前年車輛購入や、給与基準も下がったためだが、プール使用期間短縮など経費削減に努めていくとの説明があった。
- ◎ **国民健康保険事業** 工事請負費1千100万円は引湯管の布設替えで、飛龍峡下300mを予定している。寸又峡まで10数年かかるとの説明。
- ◎ **いやしの里診療所** 人件費や医療機器購入費等一般管理費3千541万円と医療費790万円を、診療収入見込み3千300万円に一般会計繰入1千64万円で賄う。代診医派遣委託料240万円は、週1回の半日分。
- ◎ **教育総務課** 以上の保険料8千470万円、県負担2千14万円、町負担671万円で賄う。
- ◎ **簡易水道事業** 普及率は中川根側が田野口を入れ99・4%、残る平溝地区は飲料水供給施設を検討。本川根側は99・5%、古いので更新もあるとの事。
- ◎ **温泉事業**



沢脇住宅